

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立 三国丘中 学校
校長 石山 陽

中学校区におけるめざすことも像
○自分も人も大切に子ども ○主体的に考え、行動できる子ども <時を守り 場を清め 礼を正す>

令和8年度 重点目標
1..挨拶が響き渡り みんなが仲良く過ごせる学校に ~生徒の良さを認める教育活動の展開~
2..健やかな心と体をつくりしっかり学べる学校に ~『学び考える楽しさを実感できる授業』の実践~
3..タブレット・生徒用端末の活用 掃除が行き届いた学校に ~『業務の効率化』『学びの環境の整備』~

確かな学びの現状
全国学力・学習状況調査より、生徒に必要な資質・能力のうち「知識・技能」については、学習に一定の成果が認められる。「思考力・判断力・表現力等」については、課題があり、個別最適な学び・協働的な学びの充実を図り、主体的・対話的な深い学びの視点からの授業改善が求められる。また、教師の生徒理解能力、コーチングマインドなどの基礎的能力の向上のための研修の充実を図り、学校力向上に繋げる。

豊かな心・健やかな体の現状
全国学力・学習状況調査より、「将来の夢や目標を持つ・難しいことでも挑戦する・やり遂げようとする・人が困っているときは進んで助ける」など、個人的な心情・人間性の観点では肯定的である。一方で地域活動への参加など主体的に社会の形成に参画する態度(主権者教育的)の育成に取り組んでいる。具体的に学校行事や生徒会活動の取組、地域と連携した取組を推進し、地域との関わりを実感し、未来の社会を創ることができるというマインドの醸成に努める。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (~12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	授業改善	ICT機器の積極的な活用	教師用タブレット、生徒用パソコンを積極的に活用した授業展開及び校内研修の充実。 ★小中連携した教育活動の推進となるよう系統的に実践。	・授業観察により確認 ・活用アンケート等の分析 ・積極的な研修(自己研修含む)	授業観察 実践報告	毎学期 年度末			
		主体的・対話的で深い学びの実現 (『学び考える楽しさを実感できる授業』の実践)	教師からの積極的問いかけや、班毎の意見交換、発表の場を設定した考えて議論する問題解決学習的な授業展開。	・授業観察により確認 ・「授業が分かりやすい」の肯定的回答が85%以上。	授業観察 生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末			
	学力向上	基本的な知識・技能の定着及び教科学力向上	少人数指導を効果的に展開する学習支援。	・授業観察により確認 ・「少人数授業や習熟度別授業はわかりやすい」の肯定的回答が85%以上。	授業観察 記録簿 生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末			
		家庭での学習習慣の確立	●学習に対する興味関心を高める工夫や、学習状況に応じた適切な課題の作成。 ★ICTスキルの指導及び活用場面の設定。	「自分の学力向上のため、家庭での学習時間を増やしたりしている」の肯定的回答が80%以上。	保護者学校教育アンケート	毎学期 年度末			
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	道徳授業の実践	●年間計画に基づく22分野の確実な実施。 ・日常生活の様々な場面、状況において、道徳的価値を実践することができるような内面的資質を育む授業。	・授業観察により実施状況確認。 ・「道徳では、心に残る内容の授業がある」の肯定的回答が80%以上。	授業観察 生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末			
		読書習慣の定着	・できるだけ多く、昼休みの図書室の開室を実施する ・教科指導や学級活動、生徒会活動を通して、読書習慣の定着に全校で取り組む。	「普段、1日30分以上読書をしている」の肯定的回答が50%以上。	生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末			
		いじめ防止基本法に基づくいじめの根絶	●“積極的認知”によって、いじめの未然防止、早期発見・解決に取り組む。いじめアンケートや教育相談を適切に実施する。 仲間づくり、集団作り等学級活動の充実。	「先生はいじめや問題行動に真剣に対応している」肯定的回答が80%以上。	生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末			
	体力向上	体力向上及び健康の保持増進	保健体育授業、部活動での鍛錬により体力向上を図る。生涯を通じてスポーツに親しみ、健康を保持・増進できるよう意識付けを行う。	体力合計点で全国平均点を上回る。	全国体力・運動能力、運動習慣調査	毎学期 年度末			
信頼される学校	小中	小中9年間の児童・生徒の成長を図る小中連携の推進	★小中連携の年間計画に基づく実践 ・小中授業交流、小中合同研修 ・児童生徒の学習や部活動交流 など	実施状況。	実践報告	毎学期 年度末			
	適切な情報発信	保護者や地域に対して、学校運営・教育活動を適切に発信することで、「開かれた学校」「信頼される学校」づくりを推進	・学校ホームページ更新、学校だよりや学年だより発行を通して学校情報を保護者・地域に発信する。 ・開かれた学校に向けて、授業参観・オープンスクール及び各行事で保護者が来校する機会を設ける。	「学校の様子や学習内容を懇談や各種の通信、ホームページ等で知ることができる」の肯定的回答が90%以上。	保護者学校教育アンケート	毎学期 年度末			
校長より(年度末)							学校関係者評価者から(年度末)		